

# 御浜町 五十年のあゆみ



平成20年の阿田和海岸



昭和13年頃の阿田和海岸

## CONTENTS

御浜町50年のあゆみ	2
御浜町の50年 こんなことがありました	4
御浜町はこんなまちです	6
みんなが主役 わたしたちのまちづくり	8
豊かな心をはぐくむ	10
おもいやりあふれる ふれあいのまち	12
このまちの活力	14
年中みかんのとれるまち	16
世界遺産 熊野古道	18
資料編	20



こんなのびやかなまちだから、人々もあたたかい。  
かけがえのない人たちと歩んだ50年の記憶は、  
いつまでも胸に刻みつけられる。  
私たちのまち御浜町の誇りなのです。

海岸線の遊歩道を歩けば、  
渚を渡った潮風が頬を撫で、潮の香りが鼻をくすぐり、  
あふれる太陽の光はまるで、  
秋に輝くみかんのように人々の心を豊かにし、  
暮らして自然がこんなにも近くで共鳴しています。

大いなる自然と悠久の時間が私たちを包みます。

——御浜のまちは、

海から少し里山に入れば、  
美しく幻想的な姿を見せる朝霧「風伝おろし」の里、  
そして狼の血を色濃く受け継ぐ紀州犬のふるさと。

温暖な風土と地域の人々の愛情に育まれ、  
私たちのまちは「年中みかんのとれるまち」と呼ばれます。  
古代から続く人々の類を見ない営みが、  
世界遺産となった「横垣峠」の石畳や  
七里御浜の「浜街道」を残しました。